

社会福祉法人総社市社会福祉協議会ボランティアグループ活動助成要領

(目 的)

第1条 社会福祉法人総社市社会福祉協議会（以下「本会」という。）は、地域に暮らしている住民が、お互いに助け合い、支え合う地域福祉推進のボランティア活動を活発化するため、本会ボランティアセンターに登録しているボランティアグループ（以下「グループ」という。）に対して活動費の一部を助成する。

(助成対象)

第2条 助成金の対象は、次の事項全てに該当するものとする。

- (1) 福祉分野のボランティア活動を総社市内で年間6回以上実施していること
- (2) 他の公的な助成等を受けていないボランティア活動であること

(助成金の種類)

第3条 助成金の種類は、グループの年間延べ活動人数による「ボランティアグループ活動人数別助成」（以下「人数別助成」という。）及び先駆的かつ開拓的若しくは継続的な活動内容による「ボランティアグループ活動事業別助成」（以下「事業別助成」という。）とする。

2 「人数別助成」による助成額は、予算の範囲内で1グループ当たり、次のとおりとする。ただし、中学校所属のグループは、10,000円を上限とする。

- | | | | |
|-----|----------|----------|---------|
| (1) | 年間延べ活動人数 | 20人～39人 | 3,000円 |
| (2) | 〃 | 40人～59人 | 5,000円 |
| (3) | 〃 | 60人～79人 | 15,000円 |
| (4) | 〃 | 80人～119人 | 25,000円 |
| (5) | 〃 | 120人以上 | 35,000円 |

3 「事業別助成」による助成金上限額は、1事業50,000円とする。ただし、食糧費は対象としない。

(助成金の請求及び交付)

第4条 「人数別助成」の交付を受けようとするグループは、ボランティアグループ活動人数別助成計画書（様式第1号）を提出し、活動終了後速やかにボランティアグループ活動人数別助成報告書（様式第3号）を会長へ提出する。

2 「事業別助成」の交付を受けようとするグループは、ボランティアグループ活動事業別助成申請書（様式第2号）を提出し、事業終了後速やかにボランティアグループ活動事業別助成報告書（様式第4号）を会長へ提出する。

3 会長は、前項に定める請求があったときは、その内容を審査のうえ、グループ代表者へ助成金を交付する。

(助成金の返還)

第5条 会長は、偽りその他不正の手段により、助成金の交付を受けた場合は、助成金の返還を命ずることができる。

(その他)

第6条 この要領に定めるものの他必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この要領は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 この要領は、平成22年4月1日から施行する。

様式第 2 号

社会福祉法人総社市社会福祉協議会 ボランティアグループ活動事業別助成申請書

グループ名		代表者	印	
住 所		連絡先	()	—
事業名				年度
事業内容				
事業実施主体				
事業実施時期				
事業対象者 及び 対象者数				
事業 費 内 訳	項 目	金 額	算出根拠	備 考
	計	円		
事業費総額		社協活動助成金	利用者負担金	自己資金 (会費・寄付金等)
円		円	円	円

※ この書類は、1 事業ごとに 1 枚必要です。

様式第4号

社会福祉法人総社市社会福祉協議会 ボランティアグループ活動事業別助成報告書

グループ名		代表者	印	
住 所		連絡先	() -	
事業名				年度
内 容 (活動、事業の内容、活動における主旨や思い)				
活動回数 (事業日時、活動日時等)				
事業対象者 及び 対象者数				
事業費内訳	項 目	金 額	算出根拠	備 考
	計	円		
事業費総額		社協活動助成金	利用者負担金	自己資金 (会費・寄付金等)
円		円	円	円

※ この書類は、1事業ごとに1枚必要です。

請 求 書

一金 円 也

活動人数別（内訳：延べ活動人数 _____人； _____円）

事業別 _____円

ただし、 _____年度 社会福祉法人 総社市社会福祉協議会ボランティア活動助成金として上記金額を請求します。

_____年 _____月 _____日

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会
会 長 _____様

グループ名

代表者 _____ 印

住 所

連絡先 (_____) _____

口座振込依頼欄				
フリガナ				
口座名義人				
金融機関名		銀行コード		
支 店 名	本店・支店	支店コード		
口座種目	1 普通預金 2 当座	口座番号		